

デジタル導入の成熟度の測定

概要

デジタル導入成熟度マトリックスは、デジタル導入プログラムで卓越性を実現する方法を理解、測定、計画するのに役立つ自己分析ツールです。目標を設定し、優先順位を評価し、改善努力を指導/整理し、スケーリングDAP戦略の進捗状況を伝えるために、それを使用します。

デジタル導入成熟度マトリックスには、以下の要素が含まれています。

- ステージ □ 新興から 変革への成熟度の測定
- カテゴリー：次元をタイプ別にグループ化する（戦略的、戦術、技術）。
- 次元：デジタル導入のスケーリング化のための重点分野（例えば、エグゼクティブスポンサーシップ）

		STAGES				
		Emerging	Formalizing	Scaling	Established	Transformational
BUSINESS	Executive Sponsorship	Executives advocating for company's digital transformation priorities and objectives				
	Business Impact	Impact of digital adoption on achieving organization's operational, financial, and strategic objectives				
OPERATIONAL	Program Governance	Impact of digital adoption on achieving organization's operational, financial, and strategic objectives				
	Resource Capacity	Ability to independently manage and deliver solutions at scale				
TECHNICAL	Product Adoption	Proficiency in leveraging product features to create frictionless user journeys across the tech stack				

ヒント：これをリーダーシップに提案する

産業トレンド：経営陣は、競争力のある差別化要因として成熟度モデルに乗り出しています。 [詳細については、こちらをご覧ください。](#)

WalkMeは、フレームワークとコミュニケーションツールとしてデジタル導入成熟度マトリックスを推奨していますが、これはリーダーシップと共鳴する場合にのみ有用です。

- カスタマーサクセスマネージャーと協力して、四半期ごとのビジネスレビューや戦略計画セッションなど、すでに予定されている会話にこれを統合してください
- [成熟度モデルを競争力のある差別化要因として使用し、経営陣の業界トレンドを提案してください](#)
- 戦略的計画と調整の標準化に役立つデジタル導入に特化した成熟度モデルのクラス最高の例として、成熟度マトリックスを提供します

デジタル導入成熟度マトリックスの使用

成熟度マトリックスから始めます。次に、各次元に関連する重要な活動を定義、優先順位付け、実行に移します。最後に、定期的に使用する一連のガバナンスツールにマトリックスをどのように組み込むかを決定します。

ステップ1：自己分析

意図的な発見で自己評価。この議論を支援するために [SWOT分析の使用を検討してください](#)

1. 現状を把握する：現状とその理由
2. 主要な機会と主要な脅威を定義：会社の環境要因を評価します。最も容易に取り組める場所はどこか？最も困難な場所はどこか？

	Emerging	Formalizing		Scaling	Established	Transformational
Business Impact	Y0	Y1	Y2	Y3		
Executive Sponsorship		Y0		Y1		
Program Governance		Y0		Y1		
Technical Capacity		Y0	Y1	Y2		
Product Adoption		Y0	Y1	Y2		

ステップ2：アクションを識別する

実施可能なステップを計画し、各次元での成熟度を向上させます。

1人のチームとして取り組んでいる場合でも、デジタル導入CoEを目指している場合でも、5つの成熟度マトリックスの次元にわたって、**エマージングからフォーマライズまで** 進化することで、デジタルアダプションプラットフォームから得られるメリットを最大限に活用できます。

強力な基盤を構築するための実施可能なステップ（+リソースとディスカバリー質問）については、[デジタル導入戦略のフォーマライズ](#)の記事をご覧ください。

すでに成熟したデジタル導入プログラムをお持ちですか？ 効果的なスケールには、安定したコアが必要です。上記の記事をチェックリストとして使用し、戦略基盤に欠陥がないことを確認します。

ステップ3：アクションの優先順位付け

それぞれの次元について、成熟度を促進する具体的なアクティビティは何ですか？

エマージング段階からフォーマライズ段階に移行するための推奨アクティビティについては、[デジタル導入戦略のフォーマライズ](#)を参照してください。

それぞれのアクティビティ：

- アクティビティの範囲は何か？
- 「完了の定義」とは何か？
- これを完了するために必要なリソース/帯域幅はどれか？
- このアクティビティの完了に関連付けられたリスクは何か？
- このアクティビティの依存関係は何か？ 依存関係がこのアクティビティを遅らせるリスクはありますか？
- 正常に完了した場合、このアクティビティは成熟度の向上に（ブレインストーミングされた他のものと比較して）どのような影響を及ぼすか？

ステップ4：アクションを実施する

コスト/ベネフィットアプローチを使用する。

どのアクティビティが他のアクティビティよりも成熟度を高めるか、最低コストおよび/または最低リスクの低いアクティビティか？

分析にはWalkMeプロフェッショナルサービス、パートナー、契約社員、内部雇用などのコスト考慮事項を含めます WalkMeチームでスコープ付けサポートをこちらでチェックします。

ステップ5：運用化

成熟度モデルは、信頼性と[デジタル導入プログラムマネージャー](#)の説明責任を確実にするために、分析プロトコルが付随する必要があります。

プロセスに成熟度の議論を組み込むために、以下のアクションを検討します。

隔年ごとのステータスミーティングに組み込み

- 価値ナラティブとカスタマーサクセスプランとともに、議論します。

キャリア開発の機会として活用！

- 個々の貢献者を、エグゼクティブリーダーシップの前で1~2の強調されたアクティビティを「ショーケース」する
 - 例えば、ベンは、季節的なSalesforceとS/4 HANAリリース日前に、WalkMeソリューションの積極的な調整とQAテストのためのフローチャートを定義し、新しいプロダクトマネージャーと四半期ごとのケイデンスを作成しました。

柔軟で、変化にオープンであること。

- 最初の分析で優先順位付けされた重点分野が、今でもすべて正しいと思えないこと。必要に応じて尋ね、確認、調整
- 特に、新しいステークホルダーや拡張されたWalkMeリーチがいる場合は[SWOTを再度実行します](#)

ダウンロード可能なテンプレート&例をダウンロードします

Digital Adoption Maturity Matrix Workbook

このブックを使用してデジタル導入の成熟度を自己評価し、将来のパスを作成してください。

[ダウンロードはこちら。](#)

